

サステナビリティの推進

方針・考え方

九電グループは、グループ理念「ずっと先まで、明るくしたい。」のもと、持続可能な社会の実現に向け、ステークホルダーの皆さまの声や社外有識者のご意見等を踏まえた事業活動の改善・充実を図るため、社長を委員長とする「CSR推進会議」を中心に、幅広いステークホルダーの期待・要請に応えるCSRマネジメントを推進してきました。

そうした中、気候変動をはじめとする地球規模での社会課題が深刻化しています。当社グループは、責任あるエネルギー事業者として、こうした課題解決に積極的に貢献していくことが極めて重要であると考え、2021年4月に「九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050」P22~25を策定するとともに、その確実な実現をはじめとするESG（環境・社会・ガバナンス）課題全般への取組みを強化するため、同年7月に「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。

新たな体制のもと、事業活動を通じた地域やグローバルな社会課題解決への取組みを更に加速し、サステナビリティの実現に貢献していきます。

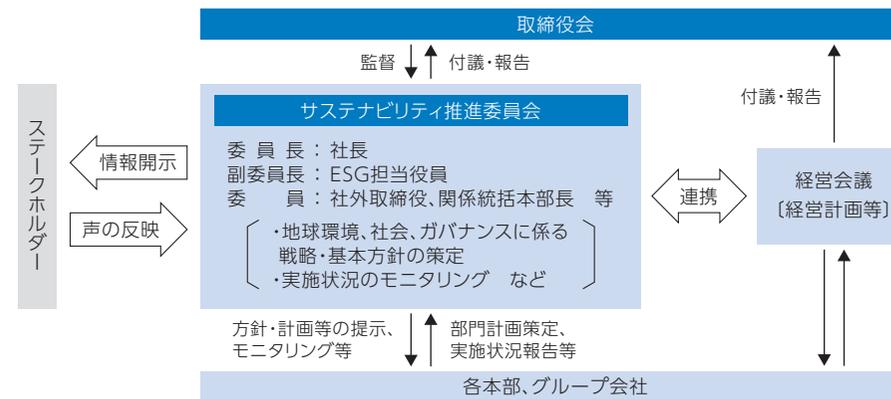
推進体制の整備（2021年7月）

従来の「CSR推進会議」を見直し、取締役会の監督を受ける会議体として「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。

また、ESG担当役員を配置するとともに、コーポレート戦略部門内にESG推進専任部署を新設し、サステナビリティ経営の実践に向けた推進体制を整備しました。

これまで以上に、経営や事業活動にESGの視点を取り込み、持続可能な社会への貢献と九電グループの持続的な企業価値向上に向けた取組みを推進していきます。

●サステナビリティ推進委員会



持続的な価値創造に向けた重要課題

昨今、国連における「持続可能な開発目標(SDGs)」の採択やESG投資の広がり等、地球規模での社会的課題に対する関心が高まっており、企業に対しても課題解決の主体としての役割が強く期待されています。

九電グループでは、これらの経営環境認識を踏まえ、ステークホルダーからの期待が特に高い14項目を、「CSR重要課題」として特定し、その解決に向けて積極的な取り組みを進めています。(CSR重要課題については、「ESGデータブック2021」P3参照)

また、当社グループの経営戦略とESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みは一体不可分となっており、「九電グループ経営ビジョン2030」の戦略I・II・IIIはそれぞれE・S・Gと紐づいています。

今回、CSR重要課題をベースに、「経営ビジョン2030」や「カーボンニュートラルビジョン2050」で目指す姿と現状のギャップを埋めていく上での課題を、九電グループの中長期的な成長に向けた価値創造の重要課題(マテリアリティ)として整理しました。

これらの重要課題については、社会動向や経営環境の変化等を踏まえ、見直しを図りながら、持続可能な社会への貢献と九電グループの持続的な企業価値向上に向けて取り組んでいきます。

